

宮古島への地对艦・地对空ミサイル搬入に抗議する決議

千代田地域では、陸上自衛隊の施設建設が、多くの住民の反対の声を押し切って、現在も強行されている。

「千代田の基地内には弾薬庫は建設しない」と住民説明会でも語り、質問への回答文書でも、「建設しない」と答えていたにもかかわらず、実際には、建設されていることは言語道断である。しかも、その中に、昨年3月には「中距離多目的誘導弾」というミサイルの弾頭も搬入されていた。

その後、防衛省・沖縄防衛局は搬出したと言うが、住民は現認していない。

それから1年、2020年2月29日、3月3日と、住民の目に触れないように、地对艦ミサイル、地对空ミサイル搭載車両と関連の軍事車両が搬送され、千代田の基地内に搬入されている。

その通知は、宮古島市役所にもなされていない。市民の通報を受けて、宮古島市は電話で自衛隊側へ確認している。

このような、住民や住民生活の安全を顧みないミサイルの搬入と設置に、私たちは強く抗議し反対する。

「弾薬は搬入していない」「保良に弾薬庫ができるまで、千代田に弾薬は置かない」と、防衛省は述べているが、これまでの経緯から私たちは信じるわけにはいかない。

千代田にできている弾薬庫は「地上式1級火薬庫」であり、大量の火薬(弾薬)を保管できるものである。

ミサイルの弾薬を入れないなら、このように大規模な火薬(弾薬)庫は不要であり、民間住宅から至近距離であることを鑑みれば即時撤去すべきである。

また、私たちは、保良への3棟の弾薬庫建設にも強く抗議し、反対する。

保良には、射撃訓練場や野外訓練場も作られると明らかにされているが、集落のすぐそばで、事件事故の危険性は否定できない。

平時の訓練や火薬(弾薬)の搬送は、島中に事件事故の危険性をもたらすものである。

千代田内の弾薬庫すぐそばの燃料施設の地下の空洞・軟弱地盤の問題も改良されておらず、地下水汚染のおそれは依然としてある。

私たちは、千代田の基地への「地对艦・地对空ミサイル(誘導弾)車両の搬入強行と千代田、保良を初め、宮古島への軍事施設建設に断固抗議する!

2020年3月21日

安倍晋三内閣総理大臣
河野太郎防衛大臣
田中利則沖縄防衛局長
佐藤慎二宮古島駐屯地司令 あて

ミサイル基地いらない住民連絡会

代表 仲里成繁

3・21ミサイル配備強行抗議行動参加者一同